

平成23年度事務事業評価シート(平成22年度分)

予算科目	会計	一般会計	001	款	07	項	01	目	04
事務事業名	大仙市まほろば唐松公園(わんぱくの森)管理運営事業								
担当部署	協和支所市民サービス課	4501000	電話	018-892-3706			内線	353	

◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	03:活き活きと希望を持って活躍できるまちづくり
	施策の大綱	04:観光の振興
	施策	02:観光誘客の推進
	施策の内容	01:観光誘客体制の整備
根拠法令等	大仙市まほろば唐松公園条例	

◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	自然の中でスポーツ、レクリエーションの振興を図り、もって市民の心身の健全な発達及び観光に資するため。
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	大仙市内外の市民
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	公園内の施設の管理運営に関すること ①ツリーハウス20棟 ②炊事場2箇所 ③トイレ棟 ④管理棟 ⑤イベント広場
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	市民へ健全な公園施設を提供し、市民とりわけ児童の野外活動体験を通じた健全な育成を図るとともに、地域の活性化と住民福祉の向上に寄与する

◆実施Do

項目	名称	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度
活動結果 (事業の活動量を測る)	① ツリーハウス	棟	20	20	20
	② 開館日	日	190	190	190
	③				
成果 (事業の成果を測る)	① 入館者	人	449	289	393
	② ツリーハウス利用者	件	79	72	65
	③				
投入コスト	決算額		1,425千円	1,425千円	2,556千円
		一般財源	1,425千円	1,425千円	2,556千円
	人件費		0千円	0千円	0千円
		一般職員の年間従事人数			
		一般職員以外の年間従事人数			
	総コスト	(決算額+人件費)	1,425千円	1,425千円	2,556千円

事業を取り巻く環境	協和地域の観光レクリエーション施設として、市内外から利用客が訪れているが、少子化のほか、余暇利用時間の多様化により利用者数が少なくなっている。また、施設の老朽化も起因していると思われる。
-----------	---

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	A
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 施策を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	自然を生かした施設であり、市民とりわけ児童の野外活動の体験を通し健全な場を提供できる。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	A
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	B
	評価の理由	施設の老朽化も進んでいるため、ツリーハウスの改修工事を年次計画により実施し利用客の向上につなげる。(H22年度は7棟の屋根防水修繕を実施した。H23年度5棟修繕実施予定、H24年度7棟実施予定) また、市内小学校に野外活動体験施設のPRを行い、体験学習の場として利活用の向上を図っていく。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	C
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	B
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	B
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	A
	評価の理由	現在指定管理者で運営管理されているが、自主事業等を含めたイベントの開催や公園施設の情報提供等の取り組みも必要である。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	改善策	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)
改善	A 現状のまま継続	指定管理者とも協議しながら、ツリーハウスの改修工事を計画的に実施し、利用客が安心して利用できる環境を維持していかなければならない。22年度で7棟のツリーハウスの改修を実施し、23年度以降も必要箇所の改修を実施していく。(23年度5棟、24年度7棟)
	B 改善しながら継続	
	C 拡大	
	D 縮小	
	E 廃止	
	F 終了	